



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月15日

上場会社名 株式会社シー・エス・ランバー 上場取引所 東
 コード番号 7808 URL <https://www.c-s-lumber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 千代助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加賀美 淳 (TEL) 043-213-8810
 四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	10,866	△17.1	1,292	△29.0	1,251	△30.4	855	△33.0
2023年5月期第2四半期	13,116	12.3	1,820	△8.7	1,797	△8.8	1,276	3.6

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 862百万円(△33.4%) 2023年5月期第2四半期 1,293百万円(7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	462.40	—
2023年5月期第2四半期	693.10	689.93

(注) 2024年5月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	23,430	9,704	41.4
2023年5月期	22,358	8,990	40.2

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 9,704百万円 2023年5月期 8,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	△0.2	2,500	△23.0	2,400	△24.6	1,680	△24.8	908.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年5月期2Q	1,850,100株	2023年5月期	1,850,100株
2024年5月期2Q	244株	2023年5月期	244株
2024年5月期2Q	1,849,856株	2023年5月期2Q	1,841,508株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年1月29日(月)に開催予定の、機関投資家・アナリスト向け説明会の際に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化等に伴う不安定な国際情勢の中、個人消費、インバウンド需要の回復などが見られた一方、為替の影響によるエネルギー価格の高騰等が物価高に影響するなど先行きの不透明感が一層強くなっております。

当社グループが属する住宅関連業界におきましては、住設機器や関連資材の資材高が続いており、職人不足や建築コスト等の上昇に伴い、住宅価格は上昇傾向にあります。また、円安による輸入木材のコスト高もありましたが、木材価格はウッドショック前よりも若干高い程度まで下落し、一昨年の高騰以降の調整局面が続きました。

当第2四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は、前年同期比ではマイナスで推移し、6月から11月までの累計では7.6%減少となり、特に持家の着工戸数は大きく減少しており、分譲も減少に転じました。

このような状況のもと、当社グループは、新規取引先の開拓に積極的に取り組み、既存取引先とのシェアアップを図るための地道な訪問を強化し、また、徹底した歩留りの追求、配送効率の向上等に努めてまいりました。しかしながらウッドショックの影響が残る前年同期との比較では、減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,866百万円(前年同四半期比17.1%減)、営業利益は1,292百万円(同29.0%減)、経常利益は1,251百万円(同30.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は855百万円(同33.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① プレカット事業

当セグメントにおきましては、取引先への地道な営業活動を行ってまいりましたが、新設住宅着工戸数の減少の影響と受注競争の激化により出荷棟数を増やすことができず、木材価格の下落と相俟って、厳しい事業展開となりました。このような中、製材や配送の一部を内製化している強みを活かした歩留りや配送効率の改善により、徹底した利益率の向上に努めてまいりました。

これにより、在来部門は出荷棟数2,422棟(同0.7%減)、出荷坪数84千坪(同1.0%減)、ツーバイフォー部門は出荷棟数855棟(同3.2%減)、出荷坪数42千坪(同2.7%増)となりました。

その結果、売上高は8,805百万円(同21.9%減)、セグメント利益は841百万円(同40.7%減)となりました。

② 建築請負事業

当セグメントにおきましては、既存の取引先からの受注数増に向けた営業強化、新規先開拓に努め、着工棟数111棟、うち、大型木造施設は2棟となり、売上高は前年同期を上回る結果となりました。なお、完工棟数は、前期着工済みを含め73棟、うち、大型木造施設9棟となりました。また、千葉県成田市の福祉施設の建築請負の完工、店舗やアパートの着工など採算を重視した積算で利益率の改善に努めてまいりました。

その結果、売上高は1,997百万円(同10.7%増)、セグメント利益は131百万円(同101.3%増)となりました。

③ 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、賃貸物件を4物件取得し、保育所21物件、その他の福祉施設等の20物件(うち、1物件については当第2四半期連結累計期間は取得のみ)から安定した賃料収入を維持しております。

その結果、売上高は450百万円(同19.9%増)、セグメント利益は272百万円(同6.5%増)となりました。

④ その他事業

当セグメントには、不動産販売事業を区分しております。

不動産販売事業におきましては、土地3区画を販売、木造注文住宅2戸を建築着工し、前期着工済みを含め完成住宅4戸を引き渡しました。

その結果、売上高は233百万円(同34.2%減)、セグメント利益は3百万円(同91.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,071百万円(4.8%)増加して23,430百万円となりました。これは主に、棚卸資産が49百万円減少したものの、現金及び預金が521百万円増加したことに加え、建設仮勘定130百万円、賃貸不動産(純額)が422百万円増加したこと等によるものであります。

また、負債の残高は、前連結会計年度末に比べて357百万円(2.7%)増加して13,725百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が142百万円、社債が220百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて714百万円(7.9%)増加して9,704百万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益計上によって利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.4%(前連結会計年度末は40.2%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ523百万円(9.7%)増加し、5,912百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は1,211百万円(前年同四半期は563百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の増加額90百万円、法人税等の支払額313百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,251百万円、減価償却費214百万円、棚卸資産の減少額49百万円、仕入債務の増加額82百万円、未払消費税等の増加額32百万円等の増加要因があったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は721百万円(前年同四半期は594百万円の使用)となりました。これは主に、不動産賃貸事業における賃貸施設の新規取得を中心とした固定資産の取得による支出646百万円、投資有価証券の取得による支出73百万円等の減少要因があったことによるものであります。

財務活動の結果獲得した資金は31百万円(前年同四半期は383百万円の使用)となりました。これは、短期借入金の返済による支出428百万円、長期借入金の返済による支出545百万円、社債の償還による支出100百万円、リース債務の返済による支出80百万円、及び配当金の支払額148百万円等の減少要因があったものの、短期借入れによる収入483百万円、長期借入れによる収入451百万円、社債の発行による収入400百万円の増加要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結業績はおおむね計画どおりに推移しており、現時点におきまして、2023年7月14日に公表いたしました通期連結業績予想の修正は行っておりません。通期連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,425,384	5,946,503
受取手形、売掛金及び契約資産	3,488,617	3,579,545
棚卸資産	1,516,671	1,467,261
その他	140,849	120,099
貸倒引当金	△15,630	△15,095
流動資産合計	10,555,893	11,098,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	698,071	658,297
土地	1,448,145	1,448,145
建設仮勘定	19,487	150,218
賃貸不動産(純額)	8,735,604	9,157,640
その他(純額)	223,317	167,260
有形固定資産合計	11,124,624	11,581,561
無形固定資産	123,231	110,807
投資その他の資産		
投資その他の資産	569,464	654,364
貸倒引当金	△14,925	△14,925
投資その他の資産合計	554,538	639,439
固定資産合計	11,802,395	12,331,807
資産合計	22,358,288	23,430,123

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,695,380	1,837,968
電子記録債務	1,786,081	1,726,432
短期借入金	430,000	485,167
1年内償還予定の社債	200,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	749,912	875,870
未払法人税等	360,406	416,621
その他	1,081,448	1,071,692
流動負債合計	6,303,229	6,693,751
固定負債		
社債	500,000	720,000
長期借入金	5,928,164	5,708,526
完成工事補償引当金	59,520	57,255
役員退職慰労引当金	162,259	166,062
退職給付に係る負債	173,750	182,421
資産除去債務	4,701	4,699
その他	236,056	192,722
固定負債合計	7,064,452	7,031,687
負債合計	13,367,681	13,725,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,152	536,152
資本剰余金	321,597	321,597
利益剰余金	8,022,589	8,729,974
自己株式	△645	△645
株主資本合計	8,879,694	9,587,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,080	111,629
為替換算調整勘定	3,831	5,974
その他の包括利益累計額合計	110,911	117,604
純資産合計	8,990,606	9,704,684
負債純資産合計	22,358,288	23,430,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	13,116,090	10,866,881
売上原価	9,989,460	8,336,229
売上総利益	3,126,629	2,530,652
販売費及び一般管理費	1,305,720	1,238,103
営業利益	1,820,909	1,292,548
営業外収益		
受取利息	318	321
受取配当金	2,051	4,892
受取賃貸料	22,917	21,951
受取保険金	4,329	3,422
その他	14,101	9,713
営業外収益合計	43,719	40,302
営業外費用		
支払利息	28,134	27,617
社債発行費	12,039	8,832
支払手数料	1,309	22,622
賃貸費用	10,535	10,442
その他	15,186	11,536
営業外費用合計	67,205	81,051
経常利益	1,797,423	1,251,799
特別利益		
固定資産売却益	272	199
特別利益合計	272	199
特別損失		
固定資産除却損	—	342
特別損失合計	—	342
税金等調整前四半期純利益	1,797,696	1,251,656
法人税、住民税及び事業税	493,664	397,569
法人税等調整額	27,678	△1,286
法人税等合計	521,342	396,282
四半期純利益	1,276,353	855,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,276,353	855,373

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2023年11月30日)
四半期純利益	1,276,353	855,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,913	4,548
繰延ヘッジ損益	2,303	—
為替換算調整勘定	3,092	2,143
その他の包括利益合計	17,309	6,692
四半期包括利益	1,293,663	862,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,293,663	862,066

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,797,696	1,251,656
減価償却費	194,429	214,156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	272	△535
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△15,931	△2,265
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,581	3,803
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,926	8,670
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,114	—
受取利息及び受取配当金	△2,370	△5,213
支払利息	28,134	27,617
固定資産売却損益 (△は益)	△272	△199
固定資産除却損	—	342
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△422,301	△90,927
棚卸資産の増減額 (△は増加)	258,156	49,409
仕入債務の増減額 (△は減少)	△101,421	82,938
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△208,838	32,996
その他	3,921	△24,648
小計	1,532,870	1,547,800
利息及び配当金の受取額	2,026	4,802
利息の支払額	△27,661	△27,362
法人税等の支払額	△943,567	△313,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,668	1,211,796
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△31,429	△31,229
定期預金の払戻による収入	31,129	34,030
固定資産の取得による支出	△589,398	△646,388
固定資産の売却による収入	272	200
投資有価証券の取得による支出	△1,797	△73,192
貸付けによる支出	—	△2,200
貸付金の回収による収入	410	600
その他	△3,617	△3,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△594,430	△721,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,000	483,500
短期借入金の返済による支出	△140,850	△428,333
長期借入れによる収入	493,700	451,800
長期借入金の返済による支出	△930,563	△545,479
社債の発行による収入	500,000	400,000
社債の償還による支出	△50,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△102,276	△80,316
長期未払金の返済による支出	△16,337	△1,823
配当金の支払額	△147,170	△148,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383,498	31,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,092	2,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△411,168	523,918
現金及び現金同等物の期首残高	4,885,518	5,388,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,474,350	5,912,355

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,683,605	1,703,023	375,235	12,761,865	354,225	13,116,090	—	13,116,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	589,899	100,652	234	690,786	—	690,786	△690,786	—
計	11,273,505	1,803,676	375,469	13,452,651	354,225	13,806,876	△690,786	13,116,090
セグメント利益	1,418,030	65,270	256,385	1,739,686	44,351	1,784,037	36,871	1,820,909

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間の取引消去35,654千円、未実現利益の調整額1,200千円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,271,418	1,912,352	449,906	10,633,677	233,204	10,866,881	—	10,866,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	533,622	85,092	403	619,118	—	619,118	△619,118	—
計	8,805,040	1,997,445	450,309	11,252,795	233,204	11,486,000	△619,118	10,866,881
セグメント利益	841,011	131,413	272,943	1,245,369	3,633	1,249,002	43,545	1,292,548

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間の取引消去40,198千円、未実現利益の調整額1,652千円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
プレカット事業	10,768,330	8,264,176
建築請負事業	—	—
不動産賃貸事業	—	—
その他事業	—	—
合計	10,768,330	8,264,176

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。

2 受注実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
プレカット事業	10,253,211	4,338,061	7,851,046	3,450,230
建築請負事業	1,605,129	630,596	2,344,344	1,380,702
不動産賃貸事業	—	—	—	—
その他事業	76,217	41,656	26,758	15,248
合計	11,934,559	5,010,314	10,222,148	4,846,181

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
2. 上記「その他」区分の受注高及び受注残高は、開発分譲地における木造注文住宅の建築請負に係るものであります。

3 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
プレカット事業	10,683,605	8,271,418
建築請負事業	1,703,023	1,912,352
不動産賃貸事業	375,235	449,906
その他事業	354,225	233,204
合計	13,116,090	10,866,881

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
2. 上記「その他」区分の販売実績のうち、開発分譲地における木造注文住宅の建築請負に係る販売高は、101,063千円であります。